

## ◆ 2020 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：越谷アリタキ緑の会

23A-10

代表者：会長 茂 榎 孝 蔵

URL :

### 1. 活動が必要とされた状況

植物学者である故・有瀧龍雄氏が所有していた Aritaki Arboretum は、かつては国際的な植物園自然保護国際機構（BGCI）に登録されていた希少な樹木植物園である。

2002年に市に遺贈され、2010年に「越谷アリタキ植物園」として開園し、市公園緑地課のもとで、「越谷アリタキ緑の会」が運営・管理に従事している。現在66名が在籍。地域の環境学習・自然観察・情操教育の拠点として、魅力ある展示室・植物園を目指し活動中。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

2020年度は、年間を通し新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対外的な活動の自粛が求められた。3/28-6/15の期間は、越谷アリタキ植物園は閉園となった。

7月より定例会を再開し、毎月1回の班長/副班長会議は開いたが、三密防止が難しい全体会は中止した。ガイド班による、園内の無料ガイドは、ほとんど中止した。夏休み子ども体験教室・植物絵画教室・講習会・及び開園10周年記念事業等々、2020年度に計画した対外的な事業はすべて取り止めた。

小康期の9月にECO勉強会で39名、10月に小学校2校、小学一年生計215名が来園。東部自然観察会による観察会には49名が参加した。

ドローンによる空中撮影は、樹高調査を兼ね4月と12月に4日間に渡って行った。撮影動画を編集し、市の施設のモニターで放映予定。YouTubeにも掲載する計画。



三密を避け毎月の定例会/  
班長副班長会議を開催



ドローン

### 3. 活動の成果

- 越谷アリタキ植物園開園10周年に向けて記念冊子の資料を取りまとめ中。
- 魅力ある展示室を目指し、展示方法を工夫した。
- 小学校の課外授業を支援。2校延べ2回来園。
- 会の広報活動として、県の美緑のポータルサイトに投稿。あしたのまちくらしづくり賞・みどりの都市賞・県内の巨樹コンテストに応募。



園内全体パトロール  
作業前の打合せ

### 4. 今後に残された課題

- アリタキ植物園図鑑(仮称)の監修作業を加速。
- 専門家の指導を受け、展示物の質的向上を図り、魅力ある展示室を築く。
- 地域と連携し、出前講座・広報活動を強化する。
- 環境学習・自然観察・情操教育の拠点として確立、植物園登録を目指す。